

## - 入力データが読め無くなり、それ以降起動も出来なくなった場合の対処方法 -

入力データが読め無くなり、それ以降起動も出来なくなった場合の原因として、データが格納されている階層が深すぎるか、データそのものが壊れてしまった場合が考えられます。

復旧の対処方法としては、レジストリ内のプロジェクト情報を削除することが考えられます。以下にその方法を示します。

「スタート」 ファイル名を指定して実行

「regedit」と打ち込む

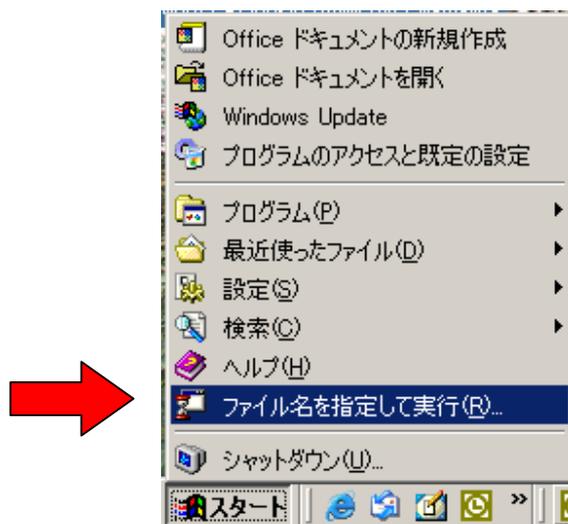
「HKEY\_CURRENT\_USER」 「Software」 「FCENA」 「COSTANAX」 「SYSPATH」

「project」 削除

なお、今年度中のバージョンアップで、この問題を解消する予定です。

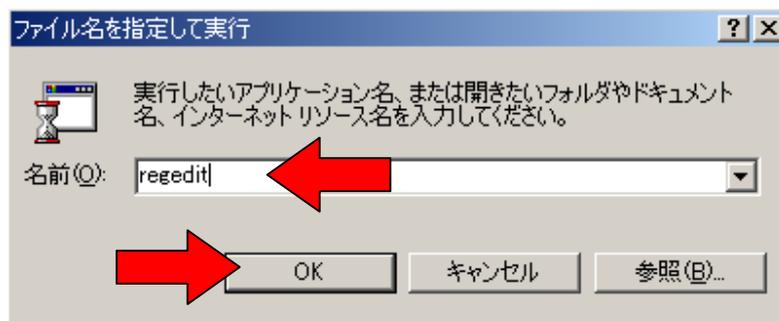
. 「スタート」 ファイル名を指定して実行

パソコンの「スタート」ボタンを押して、「ファイル名を指定して実行(R)」を行ないます。



. 「regedit」と打ち込む

レジストリエディタを起動するため、「regedit」と打ち込み、「OK」ボタンを押します。

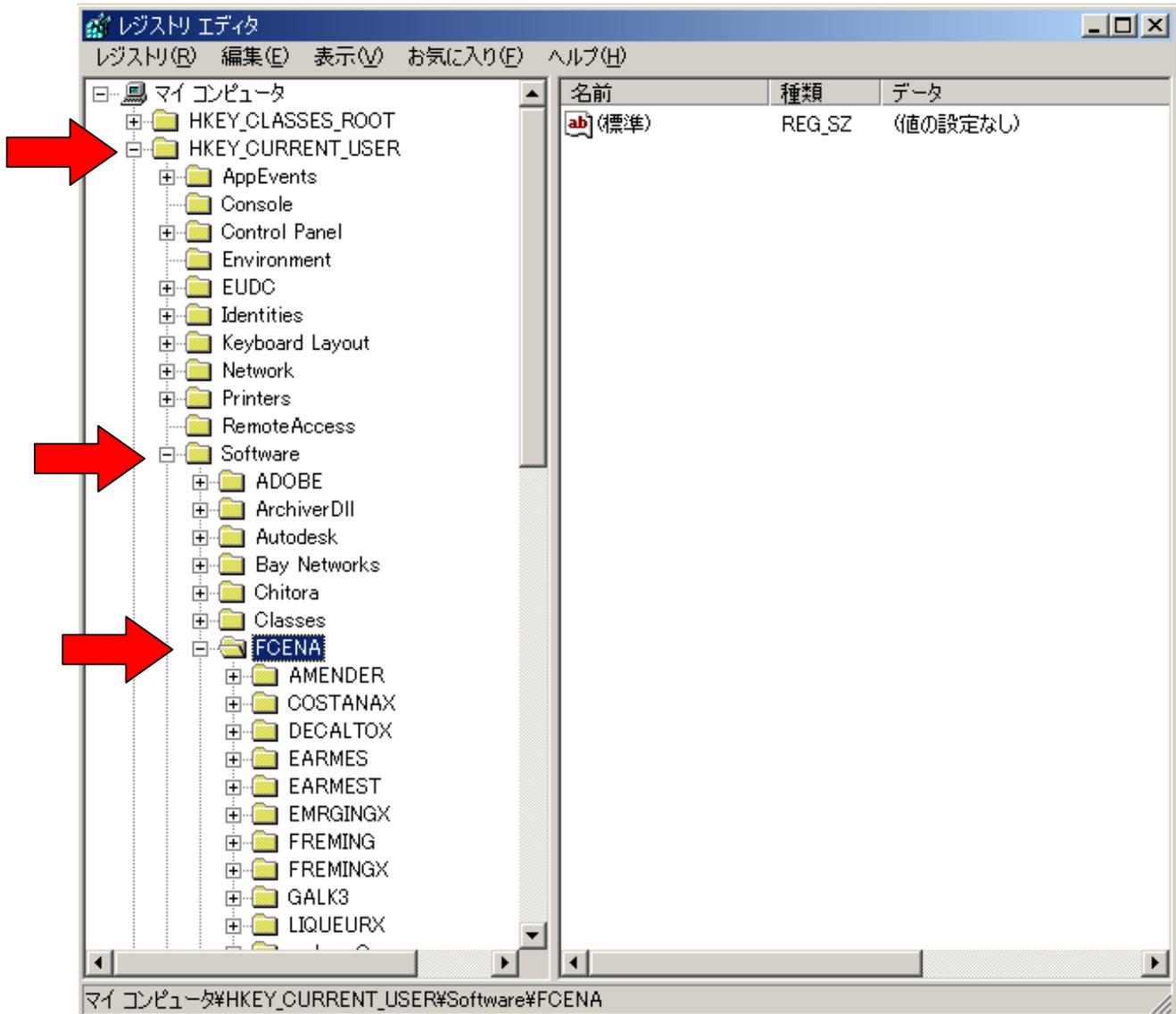


「HKEY\_CURRENT\_USER」 「Software」 「FCENA」 「COSTANAX」 「SYSPATH」

レジストリエディタが起動されます。

以下に示す「HKEY\_CURRENT\_USER」配下のホルダ先に移動して下さい。

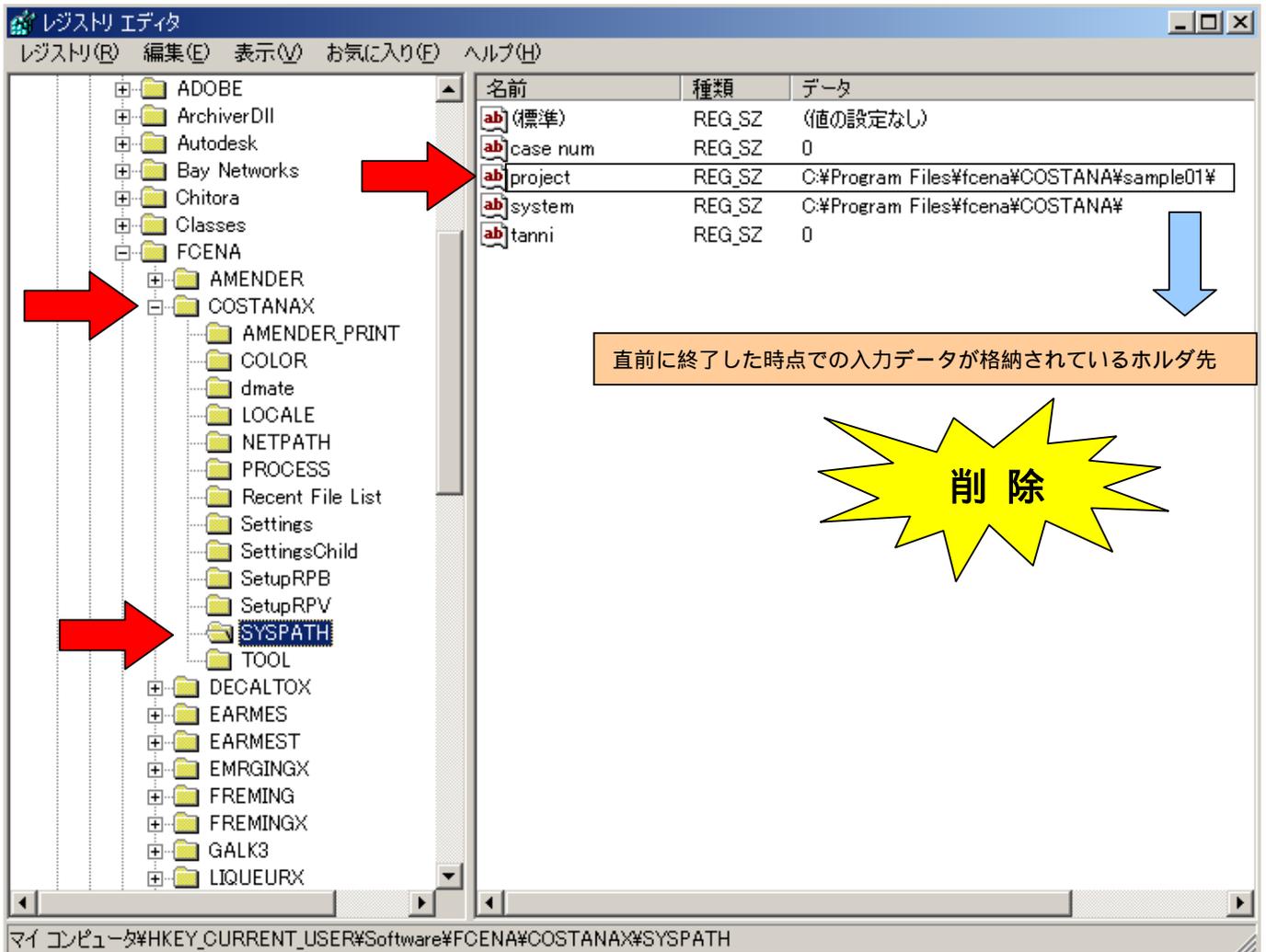
「HKEY\_CURRENT\_USER」 「Software」 「FCENA」 に移動します。



次に、ご利用のパッケージ名を指定します。

例えば、斜面安定計算「COSTANA」の場合を考えて見ます。

「COSTANAX」 「SYSPATH」 に移動して下さい。



レジストリ画面の右側に「project」が表示されます。  
この「project」が直前にセーブされた入力データのあるホルダ先が表示されています。  
この「project」を「削除」して下さい。(削除してもシステムには問題ありません)

削除後、レジストリエディタを終了して下さい。

COSTSANAを起動して下さい。直前にセーブしたデータを読み込みませんので、画面がグレーの状態になります。

この後、「ファイル」 「プロジェクトを開く」で新しいファイルを指定して下さい。